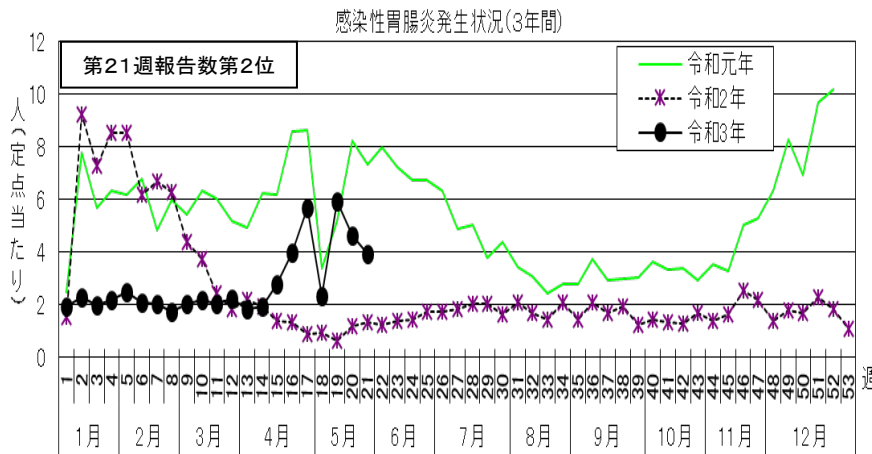
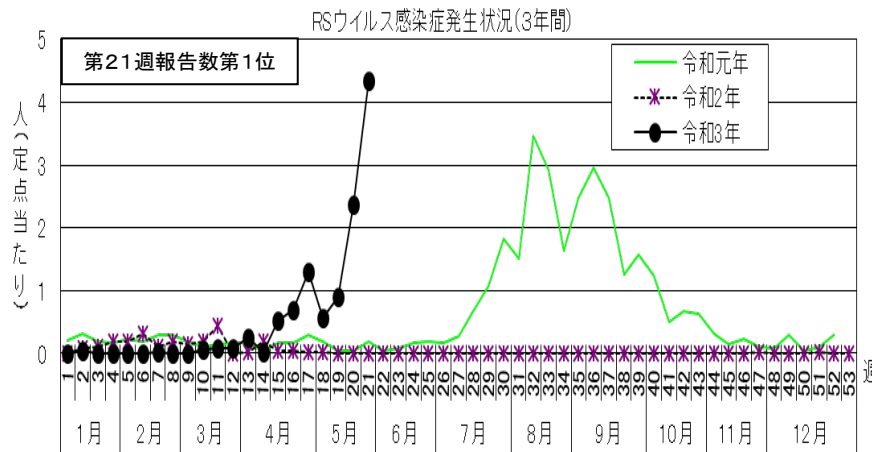
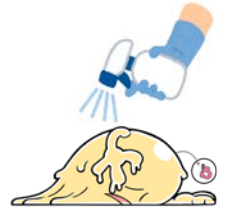


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年5月24日（月）～令和3年5月30日（日）〔令和3年第21週〕の感染症発生状況

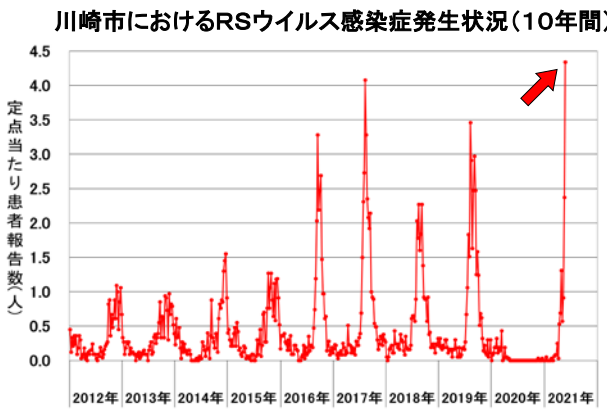
第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)RSウイルス感染症 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。
RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.34人と前週（2.37人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.91人と前週（4.60人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.56人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～RSウイルス感染症の報告数が過去10年で最多に～

川崎市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数が、令和3年第21週に4.34人と過去10年で最多となりました。RSウイルス感染症は乳幼児に好発する感染症で、多くは軽症のまま経過しますが、初めての感染では重症化しやすく、特に乳児期早期の初感染の場合は重篤な肺炎等を引き起こすこともあります。また、生後1か月未満の児が感染した場合は、突然死に繋がる無呼吸発作を起こすこともあるので、十分な観察が必要です。

RSウイルスは飛沫や直接の濃厚接触、ウイルスがついたおもちゃなどを介した接触で感染します。また、大人も感染することがありますので、風邪症状のある方は小さいお子さんとの接触を避け、大人のマスク着用、手指・物品の消毒等を徹底しましょう。



RSウイルス感染症予防対策

- 乳幼児に接する際にはマスクを着用し、咳等の症状があれば接触を避ける。
- おもちゃ、手すりなどをアルコールや塩素系消毒剤で消毒する。
- 流水・石鹸による手洗い、アルコール消毒剤等での手指消毒を行う。